

「ご挨拶」

牧師 崔 和植

(在日大韓基督教会・中部地方会会長
長野教会)



「仕えることの実践」

浪速教会「愛の家」には十数年前、私が大垣教会に赴任していた頃、教会学校の子供たちを連れて訪問したことがありました。当時は、今の浪速教会の建物に移転する前だったので、もっと狭い場所でした。しかしたくさんの人のために食事を提供していました。また、彼らに福音を伝える姿がとても情熱的でした。私たちは、小さい教会であるにも関わらず疎外されている人々のために献身しておられるのを見て感動を受けました。また、金鐘賢牧師と牧師夫人が、その方たちに情熱的に仕えておられる姿に驚きを禁じえませんでした。イエスさまはこの地に来られて「人の子は仕えられるためではなく仕えるために」(マルコ 10:45) 来られたと言われました。その御言葉のように、浪速教会は主の御言葉を身を持って実践しました。現在に至るまで変わらず疎外されている人々のために献身し、奉仕されています。こうして続けてこられることができたのは、厳しい状況の中でも諦めずにイエス様の御言葉を実践し続けたので、神様が助ける人々を浪速教会「愛の家」に送ってくださり、これからもたくさんの助け人を送ってくださると信じます。「愛の家」のビジョンが成し遂げられ、たくさんの方々に希望を与え、憩いの場となることを期待します。また、さまざまな奉仕を通してたくさんの疎外されている人々が慰めを受けられると思います。同時にイエスキリストを伝えることで、多くの方が救われ、神の子となることを信じます。こうした働きが神様の心を慰め、喜びとなると思います。それに加え、必要を満たし、命を吹き込む働きが全ての福音伝道者への挑戦になると思います。また「愛の家」のために祈り、働きを共にする支援者がたくさん増え、物心両面で支えていくことで、万事が益となるようにしてくださると信じます。

「ご挨拶」

牧師 奥田 昭

(ハレルヤ サンライズ チャペル)



「十字架 赦し 和解」

「我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。」イエスさまが私たちに与えてくださいました主の祈りの5番目にある祈りです。救われたクリスチャンであっても日々罪を犯さない歩みをすることは不可能で、その中で、私たちが他人の罪を赦すことなしに、父なる神様にゆるしを求めることはできないと教えられたのです。しかも、マタイ福音書では主の祈りの後に念押しするかのように、「もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいませ。しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。」(マタイ 6:14~15) クリスチャン同士の赦しの必要を求められておられます。現在、日本と韓国との関係、特に政治の世界では戦後最悪の状態だといわれています。どうすればよいのでしょうか。和解の道はあるのでしょうか。そもそも和解とは当事者間に存在する法律関係の争いについて、当事者が互いに譲歩し、争いを止める合意をすることです。互いの譲歩がなければ成立しないのですが、両国互いの譲歩がないのです。私たちが教えられているのは信仰の上の和解です。まず、クリスチャンがお手本にならねばなりません。神様はイエスさまを通して私たちと和解してくださいました。譲歩する必要のない神様がイエスさまを私たちに宥めの供え物として差し出されたのです。両国のクリスチャンは神様がなしてくださいました「両者を一つのからだとして、十字架によって神に和解させるためなのです。敵意は十字架によって葬り去られました」(エペソ 2:16) この心をもって、共に十字架の前に進み出て共に赦し合い、和解しなければならないと信じます。御教会で祈祷会、伝道集会でメッセージ等の御奉仕をさせていただきましたが、この小さな働きが、日韓両教会の和解の一助となりますように願い、ささやかな執り成しになればと祈っています。



宣教チームの訪問

昨年11月～今年の3月末までに韓国からインマヌエル会チーム、大邱忠誠教会中高部チーム、シンガル教会チームが訪問してくださいました。インマヌエル会チームは当教会の金鐘賢牧師の弟夫妻を含む神学校時代の同窓生のグループで、その集まりとあって常にイエス様の話や宣教が話題でした。そしていつも喜びに溢れて楽しそう、神学校や教会の在り方について深刻な討議を交わしながらも直後には和解と笑い、まさにイエス様と共に生きているという模範を見せていただきました。また車の中でも神様の聖さを求めて大声と手拍子で賛美をずっとされていた事が特に印象的でした。大邱忠誠教会やシンガル教会は浪速教会「愛の家」の活動を覚えて毎年継続して訪問してくださっています。中高生や教師方は「愛の家」で一週間を通して日本社会の厳しい現実の中で「隣人に仕える」という事を学ばれるようです。また盲目の牧師として有名な安ヨハン牧師夫妻や三一教会宣教チームが木曜集會に参加してくださいました。安ヨハン牧師の証しを綴った映画は当教会で何回も上映をしてきましたので、おじさんたちは有名俳優が目の前に現れた時のように「本人が来た！」と思っていた事でしょう。安ヨハン牧師も韓国でホームレスを経験され、その中で神様と出会う事ができたという証しをやさしくゆったりとした口調で話してください、聞く私たちは自分たちと同じ目線でいてくれる、と心を開かれ、イエス様が私達の人生をも導いてくださるようにと祈りました。

木曜伝道集會・日曜伝道集會

今年の説教奉仕は、第1木曜日は奥田昭牧師(ハルヤ サンライズ チャペル)、第2は朴栄子牧師(豊中第一復興教会)、第3は金景淑牧師(ホサ教会)、第4は全聖三牧師(布施教会)、第五は金鐘賢牧師(浪速教会「愛の家」)となっています。日曜日の午後二部礼拝(伝道集會)では金鐘賢牧師が毎週担当しています。また奥田昭牧師のご紹介で東京から日帰りで初めてご奉仕をしに来てくださいました『腹話術伝道師』の子羊家慶子、こと松浦慶子先生は、カエルさんとお猿さんのお人形を両手に、また別のシーンでは少し大きめのおばあちゃんのお人形を手に「5時からの人」と題して福音のメッセージを語ってくださいました。じっと口元を観察してもわからないほどの巧みな話術で、笑いあり涙あり、あっという間に時間が過ぎるほどお話の世界に夢中になる時間でした。おじさんたちもみんな顔を上げてよく話を聞いていて、退場する時には人形と握手する方もいらっしゃいました。松浦先生が昼食後お茶を終えて、さあ帰ろうとされる寸前まで金牧師は、あのお人形達に音声機械が入っていると思っていて、皆で大爆笑しました。松浦先生が1人4役されていたと知り目を丸くして驚いている様子に松浦先生のプロの腕前を感じました。



お正月は餅入り雑煮です



金曜炊き出し会・衣類提供会

炊き出し会場の西成公園は昨年9月の台風21号の直撃による被害から、なかなか復旧作業が進まなかったのですが、この2月末からは公園の整備が始まったようです。大きなシャベルカーが作業をする横で炊き出しをしています。西成の仲間だけでなく、工事の作業員さん達にも神さまの愛がとどきますように、と祈りながら炊き出しを行っています。3月初めに衣類の提供会を実施いたしました。新品の下着やせっけんなどが、あっという間になくなったのですが、皆で分かち合うためのルールを守ってくれない人もいて、私たちや、衣類などを祈りと共に送ってくださった支援者の方々の思いは届かないのかなあ、と心が苦しくなりました。一部の人はそうであっても、きちんとルールを守って、「今着てるものは全部ここでもらったやつやで」「助かるわあ」と声をかけてくださる方もおられます。炊き出しも衣類提供も、時として、私たちのやっていることはなんだろう？と考えさせられます。けれども、この業によって、誰か一人でも神さまの愛に気づいてほしい、教会につながってほしい、そのきっかけになりますように、という願いと祈りを忘れないように、これからも励みたいと思っています。応援をよろしく願いいたします。



自分で集めたアルミ缶を献品



炊き出しを受け取り食事する風景と全国から寄せられた衣類・日用品の配布

浪速教会「愛の家」を支えている陰の大きな存在に感謝します！

金牧師が教団総会長に選出され、この2年間は国内外への出張が多く、その度に毎朝の早天祈祷会・水曜・金曜・日曜の礼拝説教奉仕をどなたかに助けて頂いています。また毎週木曜の説教奉仕、特別賛美奉仕、ニュースレター作成奉仕、みんなの話を聴く奉仕等々、常日頃から多くの助けを頂いて活動が成り立っています。特に申容豊牧師・清水のぞみ師母は前副牧師夫婦として全力で力を貸してくださり、今も不足な私たちを祈りながら見守り、必要な時はいつでも助けて下さいます。表立って教会「愛の家」の看板となって働く者もいれば、陰ながら全心全霊で四方八方から支えて下さっている方々がおられることは本当に感謝です。昨年出版された当教会の20年を綴った本には名前が挙がらなかった方々が多くいらっしゃいます。しかし、その方々の助けなしには私たちは身動きが取れなくなる事が多々ありました。この場をお借りして心より敬意を示すと同時に感謝とお礼を申し上げます。

クリスマス燭火礼拝・祝賀会

今年は今までのクリスマス礼拝と違う所が2つありました。一つはホームレスの皆さんを招いて共に祝った事です。貧しい家畜小屋で生まれたイエス・キリストの御心に従うためでした。もう一つは浪速教会の青年たちの活躍でした。クリスマスの前から一生懸命練習した賛美があまりにも美しかったので、参加者全員がとても感動を受けました。イエス様が一番喜ばれたと思います。また小学校高学年の子どもたちは各々担当の楽器をハーモニーに合わせながら演奏し、イエス様を賛美しました。ホサナ教会の方々は仕事を終えて急いで駆けつけてくださり、息を切らしながらも手話で賛美をしてくださり、まさに聖書の中でイエス様のお誕生をお祝いする為に駆け付けた人々のようでした。



夜回りメンバー



越冬対策夜回り

西成・あいりん地区を象徴する医療センターの取り壊し工事が今年4月以降から開始される予定です。1階は日雇い労働者が仕事を得る所でもあり、野宿者・失業者たちが集って休憩したり情報交換する場でもありました。5階や裏手には病院があり、入院する事もできました。夜には全面大きいシャッターを降ろし、その周囲の屋根の下で路上生活者たちが眠ることのできる唯一の彼らの空の下の家でした。そこに「愛の家」の兄弟たちは11月～3月の間だけ金曜夕礼拝後にお味噌汁とお握りを配布しながら安否確認をする「夜回り」をしていました。この集いの場を失くし、彼らは自分の新しい居場所を見つける事ができるのでしょうか。夜空の下で眠ったヤコブの事を思います。近年、路上生活者は減ってきたかのように思えますが、それでもあちらこちらに段ボールに身を小さくして眠っている姿を見かけます。温かい食べ物を通して彼らの心に神の愛と安らぎが届くことを祈ります。

武庫川教会聖歌隊、シオン合唱団コンサート

昨年の12月20日は武庫川教会聖歌隊、今年の3月28日はシオン合唱団の方々が訪ねて来て下さいました。両チーム共、賛美の練習を積み重ね、木曜伝道集会で神様に賛美を捧げて下さいました。また西成の兄弟姉妹たちを愛し励ましたい、という気持ちで毎年私たちを覚えて訪ねてきて下さり感謝です。賛美歌だけでなく学校唱歌等も入れて、懐かしい故郷や幼少期を思い出すことのできる選曲には、クリスチャンではない兄弟姉妹への心遣いを感じます。そして今年も神戸教会の韓世一先生が大きくはっきりした声で「愛をしめされた主」と題してメッセージを取り次いで下さいました。私たちにしめされ注がれている神様の愛を十分に受け取って、大きな喜びと共にイースターを迎えたいと思います。



奉仕者の声

『感謝、感謝、感謝』

奥田 ミサ子

(ハレルヤ サンライズ チャペル 牧師夫人)

こんにちは！今月号のトップページにある「挨拶文」を書かせていただいている、御教会と道路を挟んで向かいにある、開拓したばかりの日本一小さな教会、ハレルヤ サンライズ チャペルの牧師 奥田昭は私の夫です。私たちは結婚して主の祝福のもとに昨年50年目を迎えました。私たちは、夫が62歳の時に献身し、関西聖書学院（KBI）を卒業後、愛知県にある二つの教会での10年間の奉仕を終え、昨年神様の導きにより、夫の実家のあるこの地、西成区北津守に帰ってきました。



そして、家の向かいにある御教会”浪速教会「愛の家」”にご挨拶に行きました。金鐘賢牧師ご夫妻はお帰りなさいと声をかけてくださり、教会員の方々にも暖かく迎えていただき、礼拝にも参加させていただきました。どこの教会でも信徒一同心を合わせ主を賛美しますが、サモニ（牧師婦人）の見事な賛美リード、力強いドラムに合わせて、浪速教会は男性の信徒が多く、力強い賛美から始まり、続いて金鐘賢牧師が熱いメッセージを語られ、始めて来られた人たちにも主の臨在を感じる場となっていることを感謝します。

そして浪速教会「愛の家」の働きが『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』と聖書（マタイ25：40）に忠実なお働きをされていること心から感謝し主のみ名を崇めました。主が

この地域の伝道の源として浪速教会の愛のお働きと、私たちのハレルヤ サンライズ チャペルの働きをも祝福して用いてくださいますようにとお祈りします。

『ミサ子先生を通してのお証しを伺って』

平野 真希

奥田先生ご夫妻は、サラリーマンをしている時に天からの「仕事を辞めなさい」と召命のお声をいただき信仰生活が始まりました。その後、愛知県の2つの教会で約10年間牧会されました。そのお役目を全うされて大阪に帰ってこようとしているある日の朝の通勤ラッシュの時刻、ご夫妻が駅の改札口で昭先生が切符を買ってミサ子さんに渡そうとしたその瞬間、昭先生の胸に倒れ掛かり、そのまま意識を失ったそうです。昭先生は何が起きたのか分からないまま、ミサ子先生を失うのではありませんかと「イエス様—！妻を助けてくださいーい！」と大声で、必死で祈ったとのことでした。するとその後の救急車の到着と病院への搬送は驚くべき早さだったそうです。あと少しでも遅かったら手遅れになっていたと言われたそうです。また、ミサ子さんも不安の中で聖書を読み、『わたしは主、あなたを癒す者』（出15：26）という御言葉がまるで語りかけるかのように与えられ、その御言葉をしっかり握って療養生活を送り、今は血圧の油断はできませんが、後遺症のない生活を送られています。いつも共にいて下さり、必要を満たして下さる癒し主なる神様に感謝します。



奉仕者の声

『 家族に見せられなくて 』

岡田 康 執事
(浪速教会「愛の家」)

僕は昭和27年に徳島で生まれました。3人兄弟の長男です。親父の建築の仕事の関係で宮崎に引っ越し、小学4年生でまた徳島に戻りました。当時は中卒での就職も多く、僕もその内の一人でした。学校と両親の薦めで理容室で仕事を始めました。しかし、お給料はお小遣い程度の7千円、7～8か月で辞めてしまいました。中卒というのはまだ遊びたい年頃に仕事をするわけですから、どうしても怠け癖がついてしまい抜けないのです。ですから、そこから仕事に就いてはすぐ辞めてしまう、それが続きました。それでも20歳くらいまでは家に少しは連絡を入れていたのですが、段々と家にも連絡を入れなくなっていきました。そして6年ぶりに連絡が再開したのは親父が仕事の現場で落下して危篤状態になっているという内容からでした。急いでかけつけた時には、親父は酸素マスクをつけていたけれども意識はありませんでした。

そこから約30年程また連絡が途絶えました。いくら仕事をしようとしても面接で落とされて、遂にはホームレスになってしまったからです。こんな惨めな姿を家族に見せたくない、見られたくないと思うと連絡が取れなかったのです。生まれて初めてリヤカーを引いて段ボールを集めてはお金に換えるという生活が始まりました。しばらくして年下の女の子が自分と一緒に



行動してほしいと言ってついてきました。その子は昔のパチンコ仲間でした。女性の野宿は危険が高まるので、誰か男性と行動を共にする事があります。「よう面倒みきれないよ」と僕は言ったけれど、結局8年くらい一緒に野宿をしました。でも40歳くらいで亡くなってしまいました。実は浪速教会でお世話になろうと思った

きっかけはサモニン(牧師夫人)がその子と丁度同じ年だからです。また2人が似ているようにも思えます。だからここで奉仕に励むことができます。励む・・・「ハゲル」といえば、余談で頭のハゲル話ですが、僕の親戚は誰一人として剥けている人はいません。でも僕は野宿を始めてからこんなに薄くなってしまいました。面白い事に頭のとっぺんだけなんです。2年前に弟が母親を連れて会いにきてくれましたが、その時に弟が「顔はお兄ちゃんに似てるけど頭が全く変わってしまって分からなかった」と言われました。野宿ではカップ麺ばかり食べて



いるので、ストレスも多いです。その結果です。

丁度この頃に浪速教会に引っ張ってくれた萩原さんと青かんと一緒に黒門市場の近くで始めました。萩原さんを通して生活保護を受けて、「部屋の中で安心」した生活を始めることができました。外での生活では集めた段ボールに火をつけられたり花火を撃ち込まれたこともあります。自分も困りますが、他の人に迷惑をかけるから本当に嫌でした。だから夜は番をするために2～3時間しか眠れませんでした。他の人はスプレーや消火器を吹きかけられたり、みんな色々とありました。それでも家族や親せきにこんな姿を見せられない野宿生活を続けるのです。しかし、僕は今はお蔭様で与えてもらえる生活費の範囲内で自分の生活を立て直させていただき、ギャンブルもいっさい止めました。そして今は執事にもさせてもらい責任感がでてきました。僕は歌うのが好きなので、何とんでも賛美の時間がとても楽しいです。これからはイエス様を信じみ言葉を聞き、感謝をし、信仰に励み主に仕えていきたいです。そして全国の皆さんに支えていただいて「感謝」を一番に伝えたいです。本当にありがとうございます。



「特集」「愛の家」の恩人⑥

李 清一 牧師

(在日大韓基督教会館 名誉館長)



李清一先生は在日韓国基督教会館（以下「KCC」）の館長として在任されていた時に、「愛の家」運営委員となられ参与していただきました。KCCは、在日韓国朝鮮人たちの人権擁護と差別撤廃運動、指紋捺印拒否運動に次いで、外国人住民基本法制定運動を展開してきた在日大韓基督教会の社会宣教機関です。李清一先生は、韓国と日本の様々な社会団体やキリスト教社会宣教機関と連携を結び、深く交流してこられました。特に青年たちが大阪の野宿者たちの野宿現場である釜ヶ崎に直接訪問し、野宿者の現状を把握し、奉仕する現場研修プログラム（SCM）を釜ヶ崎キリスト教協友会と協力して毎年行ってこられました。先生は、私よりもはるかに前から野宿者支援に携わってこられた大先輩です。

先生は、浪速教会「愛の家」運営委員会が発足された当初から委員として参与していただき、金安弘先生に次いで韓国側の合同委員長を担われ、奉仕していただきました。また、運営委員会の定款及び各種書類を修正していただき、組織と運営の枠組みをつくる上で、大きな助けとなってくださいました。運営委員会の会議の度に、合理的な意見を提示して下さったおかげで、「愛の家」が公正に運営され、野宿者の痛みや苦しみに寄り添う働きを持続することができました。また第1回「愛の家」チャリティーコンサートのゲストとして、沢知恵さんを紹介していただき招いていただきました。先生を通して出会った沢知恵さんは、今もなお「愛の家」を支援して下さっており、交流が続いています。

私たちの教会には、創立当初から韓国からの青年宣教チームが度々来訪します。その青年たちと共に在日韓国朝鮮人の暮らしや歴史を学ぶためKCCを訪問し、現場学習のプログラムをもつことがあります。その活動にも協力していただき、学びの機会を与えて下さった先生に感謝しています。

先生は、運営委員会創立当初からその活動が終了するまで、運営委員また委員長として、変わらず「愛の家」のために仕え、奉仕してこられました。先生のご奉仕のおかげで、浪速教会「愛の家」は全国のたくさんの支援者と共に、大阪西成において安定した活動を持続することができており、心から感謝しています。



「愛の家」会計決算報告書(2018.1.1-12.31)

収入	18 予算	18.1-12	備考
定期後援会	800,000	1,307,000	
一般後援会	1,900,000	1,612,706	
クリスマス献金	1,000,000	839,229	
食事献金	500,000	422,000	
総会支援金	300,000	300,000	
地方会支援金	450,000	540,000	
御米献金	360,000	68,000	
小計	5,310,000	5,088,935	
繰越金	761,270	761,270	
合計	6,071,270	5,850,205	

支出	18 予算	18.1-12	備考
事務・備品・印刷費	330,000	172,228	
交通費	100,000	0	
車両維持費	300,000	43,340	
奉仕者支援金	1,200,000	346,863	
研修費	150,000	0	
御米代	900,000	522,206	
副食費	2,000,000	1,878,529	
会議費	30,000	0	
発送費	100,000	112,186	
建築積立金	300,000	800,000	
救済費	50,000	50,585	
修理施設費・予備費	611,270	1,163,130	
小計	6,701,270	5,089,067	
繰越金	-	761,138	
合計	6,071,270	5,850,205	

「愛の家」会計決算報告書(2019.1.1-3.31)

収入	19 予算	2019.1-3	備考
定期後援会	1,000,000	217,500	
一般後援会	1,700,000	510,832	
クリスマス献金	1,200,000	365,339	
食事献金	400,000	29,000	
総会支援金	300,000	300,000	
地方会支援金	450,000	135,000	
御米献金	260,000	22,500	
小計	5,310,000	1,580,171	
繰越金	761,138	761,138	
合計	6,071,138	2,341,309	

支出	19 予算	2019.1-3	備考
事務・備品・印刷費	280,000	39,539	
交通費	100,000	1,500	
車両維持費	200,000	21,636	
奉仕者支援金	1,200,000	45,978	
研修費	100,000	0	
御米代	600,000	45,000	
副食費	2,000,000	449,974	
会議費	30,000	0	
発送費	120,000	1,890	
建築積立金	1,000,000	0	
救済費	60,000	0	
修理施設費・予備費	381,138	15,720	
小計	6,071,138	621,237	
繰越金	-	1,720,072	
合計	6,071,138	2,341,309	

別帳簿会計「車両購入積立金」: 残高 1,000,068 円



路上生活者支援のための 献金のお願い



春の訪れも、もう間もなく・・・と感じる季節、そしてなによりも、イエス様の御受難と復活を心に留める季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。

前号において、お願いを掲載させていただきました、クリスマス献金には、たくさんの方々が祈りと愛をもってお応えくださいました。心より感謝申し上げます。皆さまがお献げくださったクリスマス献金は、路上生活者の支援のために用いさせていただきます。

この冬も昨年末から、越冬対策夜回りを11月から始めております。この寒さの中、路上生活を余儀なくされている西成の仲間を思うと胸が痛くなります。今年も皆が無事に春を迎えられますようにお祈りください。また一人でも多くの西成の仲間が、主に出会い、主に新たにされて、残りの人生を主と共に歩む決心へと導かれますよう、お祈りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に3回行っております。金曜炊き出しには毎回約100人～150人、日曜礼拝や木曜集会にも常時100人近くの路上生活者が温かい食事を求めて並ばれます。炊き出しの実際の経費として、毎週45,000円を支出しております。

(お米50kg・10,000円、副食費35,000円、合計45,000円)

これからも神様の愛の業に励むことができますように、浪速教会「愛の家」の活動にご理解、ご協力頂き、また献金をおささげくださいますようお願い申し上げます。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会&日曜礼拝と食事提供、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、越冬夜間パトロール、生活用品収集分配

2019年度 献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、 定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、靴、靴下、寝袋、下着、鞆、タオル、ホッカイロ、食材、お米を送って下さい（近年、スーツ類の需要は少ないです）。

郵便振替： 00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会
送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」
Tel 06-6561-4712、6562-0109、 Fax 6561-4709
E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2019年4月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」
牧師 金 鐘 賢

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2018年11月1日～2019年3月31日)

⊕ 定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路集会・洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会総会、在日大韓基督教会関西地方会、豊中第一復興教会、古川富也、山住達樹、石井洋二、河内常男、朴栄子、呉蓮実、川島美恵子、当重茜、金景淑、吉村俊郎、新国久男、寺岡孝、金鐘賢、大木正典、金英姫、平野竜一・真希、匿名

⊕ 一般後援金(食事献金も含む)

三一教会宣教チーム、大邱忠誠教会宣教チーム、ソウルデチ教会宣教チーム、シンガル教会宣教チーム、セヒム教会宣教チーム、武庫川教会聖歌隊、ホサナ教会信徒、ミオ介護サービス、浅野間正勝、西成公園の人、角野、小西恵美、金容昭、橋本博子、山原ふみ子、上田一郎、平島敬二、宮田喜久子、萩原輝男、宮下政彦、橋本、東、匿名

⊕ クリスマス献金

大阪東南キリスト教会、大洲教会、西宮中央教会、都島教会、滝川教会、横須賀教会、日土教会、草加教会(ひかり幼稚園)、宇都宮教会、荻窪北教会、苫小牧教会、茅ヶ崎東教会女性の会、神戸布引教会壮年会、福岡城南教会、名東教会、大垣教会、吉田教会「教会と社会委員会」、大阪姫松教会、柏木教会、南浦和教会、旭川教会、池田教会、横浜海岸教会、香里園教会、船尾幼稚園、広島教会、川崎教会、福岡中央教会、神戸教会、広島教会女性会、平野教会、大阪北部教会、大阪北部教会女性会、布施教会クリスマスキャロル隊、在日大韓基督教会関西地方会社会部、博多教会、岡山教会、神戸東部教会、堺教会、全国教会女性連合会、盤石教会、豊橋教会、西成教会、在日大韓基督教会西部地方会女性連合会、下関教会、西新井教会、大阪教会女性会、武庫川教会女性会、京都教会女性会、武庫川教会、布施教会教会学校小学部、京都教会、つくば東京教会、

JCM 藤田桂子、山原ふみ子、田部郁彦、佐藤悦子、今井牧夫、千奉祚、小寺桃子、金森俊徳、崔英淑、宮澤玲子、山本覚、重松絢子、久保賢太郎、朴志瑛、清水真一・佐代子、角野三雄、松井、梨原ひろ子、井上豊、

⊕ お米、お米献金

グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、宮澤玲子、小林勝、田部郁彦、長野県茅野市社協、島村教子、匿名

⊕ 食材

グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、アジア青少年センター、フードバンク大阪、フードバンク関西、ぐるり農園、清水真一・佐代子、梶浦弘子、播磨社会復帰促進センター、匿名

⊕ アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守の皆さん、伊藤房子

⊕ 衣類、靴、生活用品

グッド・サマリタン・チャーチ、ホサナ教会、平田健二、伊藤真広、川島美恵子、梶浦弘子、早田

= 台風21号からの 復興報告 =

昨年9月4日(火)に関西地方を襲った巨大台風21号は関西のあらゆるところに爪痕を残し、当教会・周辺の家々・工場・バス停も道路も被害が大きかったです。それを知り祈ってくださった全国の方々、駆けつけて一緒に復興作業を手伝ってくださった方々、見舞いに来てくださった方々、修繕費用を献金してくださった方々、皆様のおかげで教会の修復作業が昨年内に終わりました。心よりお礼申し上げます。年末年始、祝日等に関わらず今日も「愛の家」の伝道集会、炊き出し、衣類・日用品配り・独居者の安否確認を兼ねた伝道活動等々の活動を休まずに取り組むことができています。しかし、街にはブルーシートを覆いかぶせて応急処置だけで済ませている家屋も多く、瓦が飛ばされたままシートをかぶせる事もできていない家々もまだまだ見受けられます。雨が降るたびに雨漏りする信徒の家もあります。今年ももう数か月もすれば台風や豪雨の季節に入ります。「愛の家」では今後の災害に備えて備品をそろえたり、実用的な避難訓練も始めました。

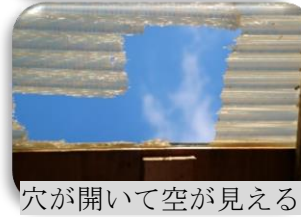
イエス様が私たちの為に歩まれた十字架の道を思うこの四旬節の時、イエス様自から私たちを愛し仕えてくださった様に、私達も互いに赦し・助け・愛し・笑いあって生きていけるように、共に主の愛の中で生きる者であり、与えられているすべての事に感謝しながら主の喜びになりたいですね。



十字架の修理



台風直後の屋根



穴が開いて空が見える



修理後の屋根

発行責任者 金鐘賢
〒557-0061 大阪市西成区北津守
3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392